

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 27 年 10 月 20 日

計画の名称	大阪港における安全な交通基盤の形成と地域活性化による持続可能な港づくり (地域活性化)									
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	大阪市							
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> 大阪港の臨海部の道路整備を行い、活力創出に向けて、交通ネットワークの形成を図る。 大阪港の船だまりを整備することにより、活力創出に向けて、安全な交通基盤の形成を図る。 大阪港の臨海部において市民に親しまれる緑地を整備し、地域の環境改善及び活性化を図る。 									
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 当計画で整備を行う夢洲道路等の整備面積を平成26年度末に5.6haとなるよう進める。 築港地区の船だまりに係留する船舶の隻数を平成26年度に9隻となるよう進める。 大阪港臨海部において、港湾空間の緑化率を平成26年度末に64.7%となるよう進める。 									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)				
当計画で整備を行う夢洲及び舞洲道路等の整備面積を指数として算出する。 夢洲道路等の整備面積 (ha)				3.2ha	4.9ha	5.6ha				
築港地区の船だまりにおいて、関係機関等の船舶の係留隻数を指標とする。 築港船だまりにおける船舶の係留隻数 (隻)				6隻	6隻	9隻				
大阪港臨海部において、港湾の環境改善や地域活性化に資する緑化率を算出する。 港湾空間の緑化率 (%) = 緑地の整備面積/緑地の計画面積×100				64.0%	64.5%	64.7%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	359百万円	A	248百万円	B	百万円	C	111百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	31%

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	平成27年10月
大阪市において、評価を実施。	公表の方法
	市ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A1 港湾事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
【安全な交通ネットワークの形成】																	
1-A1-5	港湾	内地	大阪市	直接	-	国際戦略	建設	夢洲道路整備事業	道路 1,435m	大阪港・此花地区						35	
【安全な交通基盤の形成】																	
1-A1-21	港湾	内地	大阪市	直接	-	国際戦略	建設	中央突堤物揚場整備事業	物揚場110m、護岸63m、防波堤30m	大阪港・港地区						208	
【地域の環境改善・活性化】																	
1-A1-25	港湾	内地	大阪市	直接	-	国際戦略	みなと振興	南埠頭緑地整備事業	緑地 0.01ha	大阪港・住之江地区						5	
合計													248				

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
1-B1-1																
合計													0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			
1-B1-1																

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
1-C1-1	施設整備	内地	大阪市	直接	-	建設	夢洲幹線道路における交通円滑化事業	舗装 1.7ha	大阪港・此花地区						111	
合計													111			
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			
1-C1-1	港湾事業(1-A1-5)と一体的に実施することにより、道路の円滑化を行い、安全な交通ネットワークの形成に寄与する。															

その他関連する事業									
計画の名称 大阪港における安全な交通基盤の形成と地域活性化による持続可能な港づくり（防災・安全）									
事業種別		交付対象		要素となる事業名		市町村名 港湾・地区名		全体事業費 (百万円)	備考
1-A' 1-1	港湾		大阪市	此花大橋改良事業（耐震改良、車両大型化）		大阪港・此花地区		511	
1-A' 1-2	港湾		大阪市	正平橋改良事業（耐震改良、車両大型化）		大阪港・住之江地区		130	
1-A' 1-4	港湾		大阪市	新木津川大橋改良事業（耐震改良）		大阪港・大正地区		20	
1-A' 1-7	港湾		大阪市	新木津川大橋改良		大阪港・住之江地区・大正地区		101	
1-A' 1-8	港湾		大阪市	平林大橋改良		大阪港・住之江地区		62	
1-A' 1-9	港湾		大阪市	南港大橋改良		大阪港・住之江地区		62	
1-A' 1-10	港湾		大阪市	かもめ大橋改良		大阪港・住之江地区		117	
1-A' 1-11	港湾		大阪市	ニュートラム高架橋改良		大阪港・住之江地区		18	
1-A' 1-12	港湾		大阪市	咲洲トンネル改良		大阪港・住之江地区		48	
1-A' 1-13	港湾		大阪市	此花大橋改良		大阪港・此花地区		194	
1-A' 1-15	港湾		大阪市	安治川第2号岸壁改良		大阪港・港地区		2	
1-A' 1-16	港湾		大阪市	天保山岸壁改良		大阪港・港地区		49	
1-A' 1-17	港湾		大阪市	10号岸壁改良		大阪港・大正地区		27	
1-A' 1-18	港湾		大阪市	R岸壁改良		大阪港・住之江地区		158	
1-A' 1-19	港湾		大阪市	A（A1～A8）岸壁改良		大阪港・住之江地区		0	
1-A' 1-20	港湾		大阪市	港湾施設長寿命化計画策定事業		大阪港		278	
1-A' 1-26	港湾		大阪市	安治川第1号岸壁改良		大阪港・港地区		27	
1-A' 1-27	港湾		大阪市	常吉大橋改良		大阪港・此花地区		0	
1-A' 1-28	港湾		大阪市	A1岸壁改良		大阪港・住之江地区		6	
1-A' 1-29	港湾		大阪市	A2岸壁改良		大阪港・住之江地区		6	
1-A' 1-22	港湾		大阪市	中央突堤緑地整備事業		大阪港・港地区		38	
1-A' 1-23	港湾		大阪市	鶴浜緑地整備事業		大阪港・大正地区		157	
合計								2,011	
1-C' 1-2	改良		大阪市	夢舞大橋システム改良事業		大阪港・此花地区		236	
1-C' 1-3	計画・調査		大阪市	維持管理計画策定事業		大阪港		59	
合計								295	
番号	一体的に実施することにより期待される効果								備考
1-C' 1-2	港湾事業(1-A' 1-7～13,27)と一体的に実施することにより、大阪市臨海部の橋梁の健全度を向上することができるため、安全な交通ネットワークの形成に寄与する。								
1-C' 1-3	港湾事業(1-A' 1-20)と一体的に実施することにより、予防保全型の港湾施設の維持管理を全施設について行うことができるため、安全な交通基盤を形成できる。								

A'	2,011百万円	B'	百万円	C'	295百万円	$(C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))$	15%
----	----------	----	-----	----	--------	---------------------------------------	-----

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・臨海部の道路整備を一定行った結果、活力創出に向けた交通ネットワークの形成が促進された。 ・船だまりの整備を一定進めたが、厳しい財政状況のなか整備完了に必要な事業費を確保できず係留可能な隻数の上昇には至らなかった。 ・緑地整備事業について、防災緑地として必要なオープンスペースを優先的に整備したが、港湾空間の緑化率向上も一定図ることができたため地域の環境改善及び活性化が促進された。 ・交通円滑化事業（待機レーン整備）の実施により、夢洲域内のコンテナ車両の滞留が軽減され、道路の円滑化、安全な交通ネットワークが確保された。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（夢洲道路等の整備面積）	最終目標値	5.6ha	目標値と実績値に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> ・厳しい財政状況の中、目標達成に必要な交付金が配分されず目標値には至らなかったが、港湾事業全体の中で優先順位を整理し、一部の道路整備及び交通円滑化のための舗装を優先的に整備することが出来た。 ・厳しい財政状況の中、目標達成に必要な交付金が配分されず目標値には至らなかったが、港湾事業全体の中で優先順位を整理し、一定の進捗を図ることが出来た。 ・厳しい財政状況の中、目標達成に必要な交付金が配分されず目標値には至らなかったが、港湾事業全体の中で優先順位を整理し、一定の進捗を図ることが出来た。
		実績値	5.3ha		
	指標②（築港船だまりにおける船舶の係留隻数）	最終目標値	9隻	目標値と実績値に差が出た要因	
		実績値	6隻		
	指標③（港湾空間の緑化率）	最終目標値	64.7%	目標値と実績値に差が出た要因	
		実績値	64.5%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> ・緑地整備について、防災緑地として必要なオープンスペースを優先的に整備したことにより、非常時の防災機能が強化された。 			
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> ・残事業については、需要の動向や周辺の開発状況等をふまえ、事業の優先順位を精査したうえで、次年度以降の社会資本総合整備計画において推進していく。 					

計画の名称	大阪港における安全な交通基盤の形成と地域活性化による持続可能な港づくり（地域活性化）		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	大阪市

